



畜産研通信

平成24年度第1号

岐阜県畜産研究所の情報発信誌

○ 現場後代検定情報

飛騨牛研究部

昨年度は関係者各位のご協力により「神白幸」、「景幸福」、「福糸桜王」の3頭の現場後代検定を終了することができました。3頭とも造成目的に合致した成績が得られたことから、5月2日開催された飛騨牛改良推進事業専門委員会において、基幹種雄牛に繰り入れることが決定されました。

今年度、現場後代検定が終了する種雄牛は「勝一郎（父：景平勝）」、「飛騨之匠（父：糸福171の8）」、「若光清85（父：白清85の3）」の3頭です。それぞれ枝肉研究会を開催します。また、「若光清85」の産子3頭が第10回全国和牛能力共進会長崎県大会第8区に出品されます。この3頭が若光清85の初めての枝肉成績であり、おいに期待するところです。

平成27年度の現場後代検定種雄牛として、「花清光（父：花清国）」「若白清（父：白清85の3）」「郡上第2白清（父：白清85の3）」が専門委員会で選抜されました。今後、現場後代検定のための先行交配を実施するので、ご協力をお願いします。

今年度は全共の開催年であり、優秀な成績を収められるよう祈念しながら職員も出品対策支援に精一杯努力します。



「神白幸」（父：白清85の3）



「景幸福」（父：景平勝）



「福糸桜王」（父：羅威傳王）

なお、詳しい血統情報や枝肉研究会時の資料については、畜産研究所のホームページをご覧ください。

○ 酪農研究部で育成牛の放牧を始めました

酪農研究部

ことしの4月は少し寒い日が続いていましたが、後半からは少し暖くなり、放牧地の牧草も一気に伸びたので5月7日より放牧を始めました。冬の間狭い牛舎で過ごし、少し運動不足の育成牛たちは広々した牧草地で走り回りながら牧草を食べています。

放牧を経営に取り入れることで、えさ代や敷料代が節約できます。また、牛舎で飼う牛の頭数が減るため、世話が楽になります。

飼養者にとって非常にメリットのある放牧ですが、牛にとっても運動不足が解消され筋肉や肢蹄がしっかり発達するなど大きなメリットがあります。放牧場では、牧草が唯一の牛の栄養源となり非常に重要です。酪農研究部では自給飼料の成分分析を実施しています。土壌や自給飼料に関してご相談がありましたらご連絡ください。



酪農研究部での育成牛放牧

○ 種豚及び人工授精用精液の販売について

養豚研究部

養豚研究部では、岐阜県産豚肉の安定生産と高品質化のため、繁殖母豚生産に利用する大ヨークシャー種系統豚の「ナガラヨーク」、愛知県と共同で造成したデュロック種系統豚「アイリスナガラ」に加え、筋肉内の脂肪交雑量を高くする遺伝領域を持つデュロック種「ポーノブラウン」の3系統の種豚及び人工授精用精液を県内養豚農家に販売しています。とくにポーノブラウンでは、飼料メーカーと共同で豚肉の品質を改善させる飼料を開発し、一般の豚肉の約2倍の霜降り割合を持つ高品質豚肉の生産実証試験を行い、本年開催されるぎふ清流国体の食材として提供予定です。本研究部では、今後も、肉質・繁殖成績、体型等の改良を進め、農家が利用しやすい種豚の生産をめざします。

●平成24年度種豚及び人工授精用精液譲渡価格（税込み）

種 豚	105kg 雄1頭：61,000 円	105kg 雌1頭：53,000 円
人工授精用精液	1 ドース：1,100 円（送料別）	

人工授精用精液は、毎週、月曜日と金曜日に採取・発送します。（年末年始・祝祭日も対応します。）



「ポーノブラウン」とその肉の一例

○ 卵用奥美濃古地鶏の譲渡について

養鶏研究部

天然記念物の岐阜地鶏を素材に開発した卵用奥美濃古地鶏は、淡い茶色の小振りの卵を産みます。卵重に対する卵黄の比率が高く、通常の市販卵の1.3倍ありますので、卵かけご飯に最適です。アミノ酸組成でもグルタミン酸が市販卵より高い傾向があります。

今年も5月16日に孵化しました。卵用奥美濃古地鶏譲渡要領に基づき、7月には育成鶏として、譲渡できるように大切に育てています。また、譲渡に併せて、飼養衛生管理研修会を開催します。



孵化直後の「卵用奥美濃古地鶏」

畜産研究所ホームページ <http://www.cc.rd.pref.gifu.jp/beef/>

- ☐ 飛騨牛研究部 506-0101 高山市清見町牧ヶ洞 4393-1
Tel 0577-68-2226 Fax 0577-68-2227 Email box@beef.rd.pref.gifu.jp
- ☐ 酪農研究部 509-7601 恵那市山岡町久保原
Tel 0573-56-2769 Fax 0573-56-2974 Email box@dairy.rd.pref.gifu.jp
- ☐ 養豚研究部 505-0037 美濃加茂市前平町 3-8
Tel 0574-25-2185 Fax 0574-28-4132 Email box@swine.rd.pref.gifu.jp
- ☐ 養鶏研究部 501-3924 関市迫間 2672-1
Tel 0575-22-3165 Fax 0575-22-3164 Email box@poultry.rd.pref.gifu.jp